

更新講習受講・スーパービジョン・上位資格への挑戦による自己研鑽



キャリアコンサルティングに関わる国家資格のレベル感と活動の広がり

<p>1級キャリアコンサルティング技能士 指導者としての適格性を持つこと</p>		
<p>個別相談のスキル</p> <p>第7段階 優れたキャリアコンサルティングができる</p> <p>いかなるクライアントであっても安定的に適切なキャリアコンサルティングができる併せて「指導」が何かを理解している</p>	<p>役割や活動</p> <p>実務で求められるレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つ以上の専門領域を持ち、それ以外の領域においても一定程度以上の支援が可能。かつ、指導者としての基本機能及び領域間のコーディネート機能を併せ持つレベル 複合的、困難な課題を抱えるクライアントに対する相談等対応と、その好事例発表 	<p>期待される役割等の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 前段階までの役割に加え、 事例指導 地域・職域におけるキャリアコンサルタントの活動全般にかかるリーダーシップの発揮(学習会の主宰など) 研究活動、教材、ツール開発 関連分野の専門職、活動領域組織の長とのネットワークのハブ キャリアコンサルティングの普及啓発でのリーダーシップ
<p>2級キャリアコンサルティング技能士 安定的にキャリアコンサルティングができること</p>		
<p>個別相談のスキル</p> <p>第6段階 難しいケースでも担当できる</p> <p>難しい事例であっても安定的にキャリアコンサルティングができる</p> <p>第5段階 安定的にキャリアコンサルティングができる</p> <p>安定的にキャリアコンサルティングができる</p>	<p>役割や活動</p> <p>実務で求められるレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊富な実践経験を有し、在職者・求職者のみならず、学生・生徒も含めた幅広いクライアントに対して「厚みと広がり」を持った支援が可能レベル 相当な課題を抱えるクライアント(例:キャリアチェンジ希望者、他の専門職へのリファーを要する者)に対する熟練度の高い相談等対応 	<p>期待される役割等の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 前段階までの役割に加え、 他機関との連携 組織内でのキャリアコンサルティング関連事業の提案 人事部門との協働 グループアプローチの活用 講演、事例発表、研修の企画・運営 養成講習、更新講習等の講師
<p>キャリアコンサルタント キャリアコンサルタントと名乗れること</p>		
<p>個別相談のスキル</p> <p>第4段階 キャリアコンサルティングができる</p> <p>クライアントが安心感を持ってキャリアコンサルティングができる</p> <p>第3段階 クライアントに適切に対応できる</p> <p>キャリアコンサルタントとして最低限のキャリアコンサルティングができる</p>	<p>役割や活動</p> <p>実務で求められるレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業選択・職業生活設計・職業能力開発に関する相談・助言・指導に必要な知識・技能・倫理等の基本的な基盤をもっている クライアントが安心して相談できる 	<p>期待される役割等の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業能力開発推進者としての機能 社内でのキャリアコンサルティング(セルフ・キャリアドック) 現場レベルでの関連分野の専門職との連絡調整 個別のキャリアコンサルティング
<p>キャリアコンサルタント試験合格前 キャリアコンサルタント養成講習の受講が必要</p>		
<p>個別相談のスキル</p> <p>第2段階</p> <p>形式的、表面的な聴き方で、自身の応答のみに気が向いている専門的対応とは言えない</p>	<p>役割や活動</p> <p>第1段階</p> <p>「傾聴」がどういふことかまだ学習していない自身の価値観や経験則に基づいた対応</p>	<p>役割や活動</p> <p>養成講習で身につけること</p> <p>働くこと、学ぶこと、生きることへの支援、あるいは組織のメンバーの成長を支援したい、などの意欲を前提とした、キャリアコンサルティングに必要な知識やスキル</p>